

市の考えを問う!!

市政に関する

一般質問

今定例会では、3月7日、8日の2日間、7人の議員が保健・福祉行政をはじめ、建設、農業、一般行政、教育など市政全般について、市長や教育長の見解をいただきました。

なお、原稿は質問者が作成し、文責は本人にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しました。



教職員組合の協力体制は
教育現場と協力し取り組むことが必要。教職員組合のいじめ調査、学力調査での協力姿勢を伺う。

生徒が訴えきれずに回答したと考えている。小学校に子供と親の相談員2名、中学校にスクールカウンセラー1名を配置で対応。

の情報での件数。今回、アンケートにより人に話しづらい、困っている、悩んでいる児童生徒が訴えきれずに回答したと考えている。小学校に子供と親の相談員2名、中学校にスクールカウンセラー1名を配置で対応。

佐々木 優
「日本共産党」

なぜ、取り組まない

『農地・水・環境保全向上対策』

この事業は、品目横断的経営安定対策の対象から外れた農業者への措置として創設。環境保全のために地域ぐるみで行う活動に、市の農地面積に対し、1億8000万円が支援されるもの。当初、市の負担は4500万円だったが、国からの軽減措置により1000万円程度になつた。市の予算で行つてある河川の維持管理費や各団体への補助金・花壇の整備などをこの事業に置き換えるれば、直接、経費を節減できる。また、地域経済に及ぼす波及効果も大きい。

なぜ、取り組まないのか。

答 活動組織づくりや地元負担金、中山間事業との整合性、事業終了後の活動継続などの課題があるため実施は難しい。

む。家庭・学校・社会の役割、連携を取りながら、子供達の目線で取り組む。

問 政府がまとめた教育再生会議での、7つの提言・4つの緊急対応。本市の教育行政を考え、教育長に伺う。

答 国は限られた時間で懸命に検討を進め、議論の最中で未決定。教育現場を預かる立場から、国家百年の大計であること踏まえ、あらゆる角度で現状や課題の真摯な議論

東海林 孝司
「民主クラブ」

教育のあるべき姿とは

を望む。
問 ゆとり教育見直しで学力向上になるか。

答 読み・書き・計算など基礎基本の反復徹底を図り、子達が夢と希望を持ち、一人ひとりの資質や能力に応じ、多様な可能性を伸ばす教育に取り組んできている。

問 人口5万人以下、小規模市町村の教育委員会統廃合は、心身の障害、軽度な発達障害など特別支援教育の推進、細かな対応、迅速な対応に影響、自治体の役割としての態度は。

答 全国一律の基準ではなく、じめ実態を把握する調査で教師、児童、生徒、保護者から

公表 いじめ調査

教育行政の推進を図るべきである。国と地方自治体の役割と責任を分担し相互の協力で教育の機会均等・教育力向上を目指し、円滑に推進できるよう国の教育改革の動向を注していく。

問 平成18年第4回定例会での報告と、今回公表された人數との違い。いじめのところとその対応とは何か。

答 定例会での報告は滝川市の事件を踏まえ、各学校にいじめ実態を把握する調査で教師、児童、生徒、保護者から



学校農業園の実習

なぜ、取り組まないのか。

答 活動組織づくりや地元負担金、中山間事業との整合性、事業終了後の活動継続などの課題があるため実施は難しい。